隔月誌（平成29年3月発行）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

かなえるレター

KANAERU LETTER

2017 vol.2 24号



今号の表紙

「木目込みの雛人形」

富田林市　和田松子 様

担当者　リハビリを頑張られ、
今では趣味活動にも積極的に取り組んでおられます。
手作りの雛人形はひ孫様も喜ばれていると思います。

ご利用者からの”投稿募集”



かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

かなえるリンク　検索

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

〒550-0015
大阪市西区
南堀江1-16-15
名城ビル4階D号室

TEL 06-6531-3500
FAX 06-6531-3510

ご利用者数（H29/2/16時点）

介護保険…	1,034名
医療保険…	410名
その他　…	8名
計	1,452名（社員数109名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都

〒604-8375
京都市中京区
西ノ京池ノ内町19-11
御池KSビル202号室

TEL 075-803-0536
FAX 075-803-0537

ご利用者数（H29/2/16時点）

介護保険…	250名
医療保険…	35名
その他　…	4名
計	289名（社員数22名）

—「ご利用者」とともに—

脚本とは「生活の糧」になりえるもの



今回は当事業所の作業療法士の片山が担当させていただいている中谷さまを取材させていただきました。

第40回『創作テレビドラマ大賞』を受賞

中谷さまは、顔の筋肉や肩まわり、腕の筋肉などに萎縮が生じる病で、2014年7月より、訪問リハビリをご利用いただいています。

中谷さまは、脚本を学ぶため、専門の学校に通われています。ある日、提出した課題が、講師から高い評価を受けました。それが自信となり「脚本執筆を生きる術にしたい。」という思いを持つようになったそうです。今では、ご自身で取材なども行い、活動に取り組まれています。

書き始めると、昼夜を問わずパソコンに向かい続け、目や手を酷使する事もあります。酷使した身体の状態をリセットし、日常の生活を維持させるためのリハビリを行っています。

コンクールへ応募するという日々を繰り返す中、とある切っ掛けでふれた「プロレス」。ご自身が書きたいと思っていた題材「幼馴染の恋愛事情」。この2つの題材がつながり〝新たな作品〟の扉が開かれたそうです。

タイトルは〝あなたにドロップキックを〟。日本放送作家協会とNHKが共同で開催する「第40回　創作テレビドラマ大賞」を受賞。テレビドラマ化され、2017年3月17日(金)の放映が決定しています。

中谷さまに受賞した時の感想を尋ねてみると「受賞が決まった時は、本当にうれしかったです。クラスメイトが活躍する中、私は結果を出せずにいました。頑張っている周りの姿を見て、背中を押され、これまで頑張ってこれました。今回の受賞で、やっと脚本家としてのスタートラインに立てたと思っています。」とおっしゃっていました。

中谷さまにとって『脚本』とは？

「生活の糧になってくれるかもしれないもの。昔から脚本家になりたいと思っていたわけではありませんが、これで命がつながるかも。福祉のお世話にならず生きていけるかも。そう思っています。」と話してくださいました。

「生活の糧」にしたいという強い思いが、さらなる「作品」の扉を開くことだと思います。私たちは、中谷さんの活動を応援し、日常生活での活動を変わりなく維持できるよう、サポートさせていただきます。

▸H26.7月	訪問リハビリの介入
▸当初	生活リズムの崩れ、 頭頸部から腰背部・下肢の筋緊張の高さが目立つ
▸現在	リハビリを継続することで、ADL（日常生活動作）自体は低下せず、身体機能的に大きな悪化もなく、毎週のリハビリが生活リズムの一部となり日常生活での活動を維持できるよう努めています。



第40回「創作テレビドラマ大賞」受賞作
「あなたにドロップキックを」

【放送予定】2017年3月17日(金)
【NHK総合】後10:00～10:49
【作】中谷典子（第40回「創作テレビドラマ大賞」受賞作）
【出演】イモトアヤコ、惡斗、尾上寛之、高橋光臣　他

取材：株式会社かなえるリンク　広報課　川口 智之

リハビリ 豆知識

お風呂でできる簡単ストレッチ



理学療法士
北野　宏樹

まだまだ寒さ厳しい日が続きますね。寒い日には膝の痛みなど不調を感じる方が多いと思います。膝を冷やしてしまうと膝周囲の筋肉や関節が固くなり、血流が滞って痛みを感じます。膝を温めることで、膝周囲の筋肉や関節の柔軟性が高まり、血流量が増して痛みを和らげることもあります。そこで、お風呂に入りながら出来る簡単な体操をご紹介します。

①膝の裏を伸ばす運動



膝をまっすぐに伸ばし上から手で押さえるようにします。そのままの状態で10秒間保ちます。

②お尻を伸ばす運動



両手で片方の足首の上をつかむ。膝を胸に引き寄せ、そのままの状態で10秒間保ち、脚をゆっくり戻します。

③足首とふくらはぎを伸ばす運動



湯船に両ひざを立てた状態で座ります。両手で両足のつま先を持ち、自分の方向に引き寄せ10秒間保ちます。

注意点

膝に強い痛みや腫れ等がある場合は行わないで下さい。また運動時に、膝の違和感、気分の悪さなどを感じたらすぐに中止し、必要な場合は医療機関にご相談ください。

POINT

*お風呂の温度はぬるめに設定する。
*動作に勢いをつけないこと。
*呼吸はゆっくり大きく息を止めないこと。

ご利用者「投稿コーナー」



作品「水彩画」

水彩画を初めて約4年。「出来はまだまだよ〜」とおっしゃられますが、この出来栄え！！
訪問の際に素敵な作品を見せていただけるので、とても嬉しいです。
次回の作品も楽しみにしています。　担当スタッフ

大阪市
西区
M.Sentoさま



※あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか?
詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

かなえる TOPIC

在宅に目を向けよう 療法士に必要な基礎知識と日常生活への視点

株式会社 かなえるリンク
教育研修課　門田　淳志

平成29年1月8日(日)、難波御堂筋ホールにて当社主催の研修会「在宅に目を向けよう 療法士に必要な基礎知識と日常生活への視点」を開催しました。これから地域で活動してみたいという方々を対象に100名以上のご参加をいただきました。

第1部の講義では、大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科の高畑進一先生より「パーキンソン病の生活機能障害に関する研究」をご講義いただきました。

日常生活動作の困難と工夫をテーマに、パーキンソン病の対象者の事例をご提示いただき、日常生活において困難となる具体的な内容やそれに対する対応の方法をお話しいただきました。

第2部の講義では、畿央大学健康科学部理学療法学科の松尾篤先生より「神経リハビリテーション、社会神経科学」をご講義いただきました。

「在宅で活かせるニューロリハビリテーションの基礎知識」をテーマに、脳科学や社会神経学の基礎的な内容を、具体的な文献をご紹介いただきながら、対象者の日常生活における生活課題の解決策を考える上で、必要となってくる療法士の考え方に結びつくお話をしていただきました。

当社では、在宅においてリハビリや看護の支援を必要としている対象者に対して、少しでも支援の一助となれる方法はないか、いつも考え工夫することを心掛けております。

今回の研修会でも、パーキンソン病の対象者には視覚支援によりトイレ動作で頭や身体の位置をわかりやすくするために、トイレの床や壁に目印をつけておくことや食事の際の箸の使用方法として、箸のにぎりが平行なのか「八」の字なのかを口頭指示・視覚指示することなど、日々のリハビリでの取り組みや工夫の必要性の再確認ができました。

今後も、「少しでも在宅に興味をもった療法士を増やすこと」「専門職の質の向上」を目的に、このような無料研修会を定期的に開催予定です。

次回は、8月頃の開催を予定しております。少しでも多くの専門職が在宅支援に興味を持ち、関わっていただけることを心待ちにしています。



畿央大学健康科学部理学療法学科の松尾篤先生



大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科の高畑進一先生

今号の表紙「雛人形」を拝見させていただき春の訪れを感じました。今年の冬は例年になく冷え込んでいたので、一日も早く暖かくなるのを心待ちにされていたのではないでしょうか？寒い時期は家に篭りがちでしたので、暖かくなると色んな場所に行き、色んなモノを見たい！そう考えると気持ちがワクワクしてきます。まだまだ寒い日が続くと思いますが、皆様にも素敵な春が訪れますように。



編集者　広報課　川口 智之